

2013年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	生物環境化学科						
科目名	ブラッシュアップ英語 I						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1単位	開講時期	2年次前期		
必修・選択の別	選択必修科目						
担当者	高野裕子(非常勤)						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次既習の「基本文法」をもとに、より多くのリスニング、リーディング、ライティングを通して実践的な英語を修得する。 ・日米の文化の違いを学ぶことで、異文化理解を深める。 						
日程と内容	(1) 4/8 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 (2) 4/15 Unit 1: On-Campus Facilities (3) 4/22 Unit 1: On-Campus Facilities (4) 4/29 Unit 2: Classroom Expectations (5) 5/13 Unit 2: Classroom Expectations (6) 5/20 Unit 3: Roommates Wanted (7) 5/27 Unit 3: Roommates Wanted (8) 6/3 Unit 4: Tutoring (9) 6/10 Unit 4: Tutoring (10) 6/17 Unit 5: A Blind Date Disaster (11) 6/24 Unit 5: A Blind Date Disaster (12) 7/1 Unit 6: Marriage Announcement (13) 7/8 Unit 6: Marriage Announcement (14) 7/15 Unit 7: Chemistry (15) 7/22 定期試験 (16) 7/29 Supplementary Test						
成績評価基準	定期試験	40%	実技				
	臨時試験	40%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	20%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	教科書で取り上げられるトピックが学生の興味をそそるであろうものばかりなので、リスニング内容のあらまはは聞き取ることが出来たように思う。ただ一つ一つの語彙の聴き取り等になると、なかなか上手いれない。これは更に耳を慣らすべくたくさん聴き取りをするとともに、知らない語(句)が聞き取れないわけだから、語(句)の修得にも力をいれなければならないと思う。						
反省点	音読はスピーキング、リスニングの向上につながるのだから、学生に英文を音読させる時間をもう少しとるべきだったか...と反省。						
来年度の計画	同じ教科書(後半)を使って、リスニングと語彙の強化そして上記反省点を目標に、学生達がコミュニケーションスキルの習得が円滑にできるよう指導していきたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	アンケートの設問中で、一番低いパーセンテージ(3.3)は「この授業の予習、復習をしましたか?」の回答。そう反省したのであれば、後期は是非予習復習を実践して欲しい。						
履修登録者数	32名	定期試験 受験者数	31名	合格者数	28名	合格率	90%